

事業名：経済活動広報事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化			
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化			
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援			
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	様々な媒体で市内の産業や企業を紹介する事により、市民の認識を広げる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2	世帯数	世帯	55,236	55,530	55,530	56,047
活動指標 1	年間発行回数	回	1	6	12	8
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	4	6	12	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	900	900	900	4,230
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	2,295	3,852
総事業費 (A+B)		千円	2,471	2,453	3,195	8,082

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	フリーペーパーでの企業紹介記事掲載（3回） 広報えべつでの企業紹介記事掲載（4回） 情報誌の作成・全道への配布	フリーペーパーでの企業紹介記事作成・掲載委託 450千円 情報誌の作成・配布 3,780千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	平成27年度に商業施設「EBRI」の開業を機に発行した情報誌について、市内外からの反響が大きかったことから、平成29年度は江別の産業・企業紹介を目的として本事業により発行する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：商工業活性化事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
共同施設の改善や商店街の景観向上、イベントや新商品開発により事業者の活力向上並びに商店街の魅力を高める。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	中小企業所数		所	3,409	3,468	3,409	3,468
対象指標 2	商店街組合数		件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額		千円	4,522	2,971	9,320	4,660
活動指標 2							
成果指標 1	補助金の活用件数		件	24	21	24	21
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	4,522	2,971	9,320	4,660
正職員人件費 (B)			千円	3,141	3,106	3,060	3,081
総事業費 (A+B)			千円	7,663	6,077	12,380	7,741

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。 ・商店街の建築協定に基づき、れんが・れんがタイル等を店舗外観に使用し、景観向上による商店街の活性化に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業活性化事業補助金 4,000千円 ・商店街建築協定推進事業補助金 660千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大学、研究機関、企業などから参加する経済ネットワークの会員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
例会などを通して参加者間の情報交換や連携を進め、研究や事業活動を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	176	193	184	190
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	7	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	139	306	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	34	204	679	223
正職員人件費 (B)		千円	3,534	3,106	3,060	3,852
総事業費 (A+B)		千円	3,568	3,310	3,739	4,075

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク例会開催 ・セラミックス交流会活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク講師謝礼 56千円 ・取組成果広報経費等 134千円 ・セラミックス交流会経費 33千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					
維持					○
低下					

事業名：食を軸とした地場産品販路拡大支援事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	中小企業者
手段（事務事業の内容、やり方）	北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて商談会や催事への企業出展を促す。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,409	3,468	3,409	3,468
対象指標 2						
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	4	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	24	30	30	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	182	1,785	0	553
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,941	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	1,753	3,726	2,295	3,634

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	マーケティングテスト販売（地下歩行空間ほか） 商談会（札幌、東京） 江別産品試食評価相談会開催（江別市民会館） 江別産品フェア（東京都区内）	商談会 （北海道産品取引商談会、インフォメーションバザール） 240千円 江別産品試食評価相談会開催経費 111千円 江別産品フェア開催経費（道内、道外） 198千円 ※28年度当初予算は、27年度補正予算473千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…473千円、28年度総事業費…2,768千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	事業名に記載していた「観光誘客」は本事業の派生的効果であることからこれを見直し、当事業の主体的目的である「販路拡大や商品開発・ブランド化」へ焦点を絞った内容とする。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。 									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算	
対象指標 1	野幌商店街		1	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1	
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	3,300	4,000	
成果指標 1	相談件数	件	112	137	70	70	
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	1	1	
事業費 (A)		千円	3,980	4,944	7,308	6,454	
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,941	3,826	3,852	
総事業費 (A+B)		千円	5,551	6,885	11,134	10,306	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設 ・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター委託費 2,454千円 ・誘致テナントへの補助金 4,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	コーディネーター常設に関する費用について商店街振興組合との費用負担について見直しを実施	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生など多様な主体がコミュニティビジネスなどの活動を商店街で始められるよう促す。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成するため、セミナー参加者を増やし参入の促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民		120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	1	4	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	47	50	50	50
成果指標 2	参入相談件数	件	7	4	2	2
事業費 (A)		千円	530	337	750	500
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	2,101	1,890	3,045	2,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動啓発セミナーの開催（先進事例や実例紹介、補助金制度の紹介） ・活動参入者へのサポート事業の実施（補助金相談や商店街との調整等） 	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）計画に取り組む組織・機関・団体等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 食の高付加価値化 食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等 海外市場の開拓 海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付・海外催事出展 食のまちPR フード特区の取り組みを首都圏企業等にPRする 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	89	89	90	89
対象指標 2						
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	4,750	6,227	7,000	7,600
活動指標 2	補助金額	千円	10,295	6,691	7,000	7,000
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	1	1	2	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	17,858	14,537	5,524	12,531
正職員人件費 (B)		千円	11,780	7,764	7,651	7,703
総事業費 (A+B)		千円	29,638	22,301	13,175	20,234

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 機能的食品開発を支援する補助金を交付 海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金の交付及び海外催事出展 フード特区の取組を首都圏企業等にPRする 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 2,834千円 機能的食品開発支援補助金 6,500千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,086千円 フード特区広報事業 1,135千円 <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算6,500千円を繰越したため5,524千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…12,024千円、28年度総事業費…19,675千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外企業・事業所を市内に誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	企業・事業所数	社	410,802	397,735	410,802	397,735
対象指標 2						
活動指標 1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	134	126	100	100
活動指標 2						
成果指標 1	立地企業・事業所数	社	5	1	5	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,262	1,740	1,693	1,516
正職員人件費 (B)		千円	18,062	15,528	15,302	15,406
総事業費 (A+B)		千円	20,324	17,268	16,995	16,922

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に係る情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 ・首都圏等で開催する企業誘致イベントの出席 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 540千円 ・企業誘致パンフレット更新、増刷 432千円 ・企業訪問、イベント出席に係る旅費 403千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内に対象施設を立地等（新設・増設・設備更新）を検討している企業 対象施設：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金が交付されることを掲示 補助対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター 補助金概要：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額を交付 ②雇用補助金…市内居住者新規雇用に対し1人あたり20万円（障がい者の場合20万円加算）を交付 市外居住者新規雇用に対し1人あたり10万円を交付 ③下水道使用料補助金…各月500㎡を超える部分の年間使用料の1/2の額を交付 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額を交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内に企業が補助金を利活用して立地等（新設・増設・設備更新）する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	補助金交付企業数	社	1	2	5	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	5,180	28,795	79,721	88,572
活動指標 2						
成果指標 1	補助金認定件数（累計）	件	22	24	27	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,180	28,795	79,721	88,572
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,882	3,826	3,852
総事業費 (A+B)		千円	9,107	32,677	83,547	92,424

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助金交付	補助金 88,572千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		向上		
見直し				
新規				
休止		低下		○
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
市内農業者及び市民							
手段（事務事業の内容、やり方）							
「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
生産者と消費者との相互理解を深め、グリーン・ツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。							

指標・事業費の推移							
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算	
対象指標1	市内農業者（～平成26年度 選挙人名簿）／（平成27年度～ 農林業センサス）	人	1,140	924	1,140	924	
対象指標2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250	
活動指標1	イベント開催回数	回	18	16	20	20	
活動指標2	各部会等開催回数	回	13	20	10	10	
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	485,790	528,866	486,000	529,000	
成果指標2	イベント参加者の満足度	%	100	90	80	80	
事業費 (A)		千円	1,069	992	0	1,800	
正職員人件費 (B)		千円	5,104	5,047	5,356	5,392	
総事業費 (A+B)		千円	6,173	6,039	5,356	7,192	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会へ補助金を支出 ＜協議会の事業内容＞直売所スタンプラリー、直売所マップ作成、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、収穫体験バスツアーなど 農畜産物加工新商品開発等支援として補助金を支出 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 1,000千円 農畜産物加工新商品開発等支援補助 800千円 <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算1,800千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…1,800千円、28年度総事業費…7,156千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内農業者（～26年度 選挙人名簿/27年度～農林業センサス）	人	1,140	924	1,140	924
対象指標 2	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	1,570	2,079	1,890	867
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	730	640	750	750
成果指標 1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,300	3,090	0	1,617
正職員人件費 (B)		千円	3,534	3,882	3,826	3,852
総事業費 (A+B)		千円	5,834	6,972	3,826	5,469

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 小麦生産団体への補助 和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 867千円 黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円 ※28年度当初予算は、27年度補正予算2,640千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…2,640千円、28年度総事業費…6,466千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されるテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内農業者（～平成26年度 選挙人名簿） / （平成27年度～ 農林業センサス）	人	0	0	1,140	924
対象指標 2	市民	人	0	0	119,587	119,250
活動指標 1	協力隊員数	人	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	0	0	0	1,100
成果指標 2	交流センター利用者数	人	0	0	0	16,100
事業費 (A)		千円	0	0	2,708	2,929
正職員人件費 (B)		千円	0	0	765	770
総事業費 (A+B)		千円	0	0	3,473	3,699

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬 2,280千円 ・活動用車両維持費 524千円 ・セミナー参加費 57千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
就職を希望している女性	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就職に有効な接遇やパソコン操作などの技能を習得するための研修を実施する。 ②企業実習により女性の就職や就職後の定着を支援する。 ③就職や育児の相談窓口を開設し、現在または将来就職を考えている女性への助言を行う。 ④就職支援セミナーやイベントの開催、女性の雇用に積極的な企業に関する情報提供などを行い、女性と企業の接点を増やす。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
働きたいと考える女性が就職もしくは再就職できるよう、課題を解決する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	38,227	37,369	37,369	36,756
対象指標 2	ハローワーク江別管内女性有効求職登録者数	人	0	0	0	1,081
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	3	1	4	4
活動指標 2	就職支援研修実施回数	回	0	4	2	2
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	32	110	100	100
成果指標 2	就職者数	人	0	45	50	50
事業費 (A)		千円	193	25,045	0	21,048
正職員人件費 (B)		千円	785	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	978	27,374	2,295	24,129

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	職場実習を含む人材育成・マッチング研修（合計48名） ハローワーク登録者を対象としたセミナー 潜在労働力の掘り起こしを目的としたイベント開催（1回） 就職相談窓口開設（週1回）	人材育成・マッチング研修 18,445千円 ハローワーク登録者向けセミナー 146千円 相談窓口開設 1,550千円 イベント開催 907千円 ※28年度当初予算は、27年度補正予算22,061千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度予算…22,061千円、28年度総事業費…24,356千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	ハローワーク江別と共催するセミナーについて、H28年度から既定予算の中で実施したが、H29年度からは継続的に取り組むこととして事業内容に盛り込み予算を計上した。直接的な就職に結びつかないパソコン講習について単独実施を見直し、イベントの一部に組み込むこととした。	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 障害者就労相談支援事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の 基本方針	03 障がい者福祉の充実			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援		
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）		
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	障がい者及びその家族並びに企業
手段（事務事業の内容、やり方）	障がい者就労に関する包括的な相談窓口として、相談支援員が定期及び随時相談を受け、就労及び社会的自立の支援を行う。 また、就労が実現した障がい者に対しても定着支援員が職場巡回や企業へのアドバイスを行い、就労を継続・定着できるように支援を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	障がい者及び家族が就労に関する悩みを相談し、就労実現に向けた長期的な支援を受けることで、就労が可能となり自立した社会生活を営むことができるようになる。 また、障がい者雇用を希望したり、現に雇用している企業の相談や支援を行うことで、障がい者の就労の場を確保できるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	障がい者数	人	0	8,700	8,772	8,700
対象指標 2						
活動指標 1	相談開設日数	日	0	160	243	243
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	0	503	720	720
成果指標 2	一般就労件数（平成29年度から）	件	0	0	0	10
事業費 (A)		千円	0	6,058	9,088	9,159
正職員人件費 (B)		千円	0	3,106	4,591	2,311
総事業費 (A+B)		千円	0	9,164	13,679	11,470

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	就労相談支援及び定着支援を委託により実施	委託料 9,159千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	平成29年度から障がい者の職業適正及び能力を客観的に判断する方法として一般職業適性検査（GATB）を導入し、障がい者及びその家族の障がいの受容や自己評価との乖離の認識を促し、的確な就労支援に役立てる。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止 廃止 その他				

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①市内大学の学生が市内企業で継続してインターンシップを行えるよう、インターンシップ従事中の賃金相当を受入企業が負担する「有給インターンシップ」を実施し、制度を学生に周知して参加を促す。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	10,711	9,991	10,711	9,991
対象指標 2						
活動指標 1	有給インターンシップ新規登録者数	人	0	55	50	50
活動指標 2	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	社	53	91	50	50
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	4	40	40	45
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2	11,364	0	13,056
正職員人件費 (B)		千円	1,571	2,329	2,295	3,081
総事業費 (A+B)		千円	1,573	13,693	2,295	16,137

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	有給インターンシップ制度の運営委託 市内大学・高校の就職状況調査経費	有給インターンシップ制度の運営委託 13,042千円 就職状況調査・会議開催経費 14千円 ※28年度当初予算は、27年度補正予算13,992千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度予算…13,992千円、28年度総事業費…16,287千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内高校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高校生に対し、適切な進路・職業を選択するための職業観の醸成、および進路や職業に就くための知識の習得を支援する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	4,394	4,135	4,394	4,135
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	142	146	142	146
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	148	271	180	180
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	12	11	10	10
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	96	91	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	85	95	100	100
事業費 (A)		千円	2,613	2,500	2,500	2,500
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	4,969	4,829	4,795	4,811

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施	事業実施委託 2,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市内大学（短大含む）の在学生 市内大学（短大含む） 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 市内大学を通して、市の各部署に学生を受け入れ、8月から10月までのうち、実働30日間の就業体験実習を実施する。 江別市政の理解を深めるため、市の職員を講師として、市の財政状況や議会のしくみ等を学ぶ共通実習を実施する。 実習の締めくくりとして、実習を通して得られた成果や自身の意識変化などを発表する実習報告会を開催する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市内大学の在学生数	人	10,429	10,047	10,047	9,573
対象指標2	市内大学数（短大含む）	校	5	5	5	5
活動指標1	インターンシップ参加大学数	校	3	4	5	5
活動指標2	インターンシップ参加学生数	人	9	10	10	10
成果指標1	将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	%	100	100	100	100
成果指標2	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	113	107	413	413
正職員人件費 (B)		千円	2,356	2,329	2,295	2,311
総事業費 (A+B)		千円	2,469	2,436	2,708	2,724

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 各配属部署において公務に従事する職業体験の実施 市政の理解を促進するための共通実習の実施 実習生が実習の成果を発表する実習報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 受入れ旅費（通勤費用対応） 350千円 公務出張旅費 63千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	4	6	7	6
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	147,407	181,600	180,000	180,000
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	147,407	239,800	430,000	430,000
事業費 (A)		千円	2,852	3,118	5,351	6,524
正職員人件費 (B)		千円	2,356	3,106	3,826	4,622
総事業費 (A+B)		千円	5,208	6,224	9,177	11,146

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） ・さっぽろ広域観光圏推進事業 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・英語版観光パンフレット作成事業 ・江別市リアル謎解きゲーム事業 ・地域おこし協力隊 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） 36千円 ・さっぽろ広域観光圏推進事業 500千円 ・ノハナショウブ保存活用事業 500千円 ・英語版観光パンフレット作成事業 1,080千円 ・江別市リアル謎解きゲーム事業 1,800千円 ・地域おこし協力隊 2,608千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	英語版パンフレット作成など新たな手段によるPRの実施。		減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グレシャム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,587	119,250
対象指標 2						
活動指標 1	営業日数	日	0	0	365	359
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	0	25,000	25,000
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	0	3,750	3,750
事業費 (A)		千円	0	0	9,699	8,650
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,913	3,081
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,612	11,731

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別アンテナショップGET'S管理運営	江別アンテナショップGET'S管理運営費 7,620千円 チョコレートアート製作委託料 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：観光振興計画策定事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成29年度	終了年度	平成30年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市外の人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地方創生推進交付金を活用し江別市観光振興計画の策定に関連する観光商品の開発や観光人材の育成、計画策定支援事業の実施									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交流人口の増加や産業振興を目的とした地域資源の活用や情報発信、ブランディングにつながる観光振興計画を策定する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	委託料	千円	0	0	0	13,950
活動指標 2						
成果指標 1	計画策定数	計画	0	0	0	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	14,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,622
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	18,622

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度 観光振興計画策定に係わる支援業務 観光商品開発に向けた有識者による検討会議 観光人材育成セミナー	観光振興計画策定支援業務委託料 13,950千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
29年度への改善方向性	観光に関する市内外の状況の変化から国の地方創生推進交付金を活用し交流人口の増加や産業振興を目的とした観光振興計画策定のため事業を開始。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	② 観光資源のパッケージ化				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別観光協会
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	観光パンフレットの発行やホームページなどによる観光情報の提供、ボランティアガイド等の事業により観光振興を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	180	189	200	196
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,707	1,784	2,647	2,940
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	9	7	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,707	1,784	2,647	2,940
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,882	3,826	4,622
総事業費 (A+B)		千円	5,634	5,666	6,473	7,562

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	江別観光協会事業への補助金交付 観光パンフレット「えべつコレクション」の作成や観光協会ホームページの運営、観光名刺の作成や市内外の各種イベント参加による特産品PR、ボランティアガイドによる見学会など	・観光宣伝物資製作費（パンフレット等） 2,420千円 ・えべつPR費（イベント、広告、ホームページ等） 375千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	えべつコレクションの増刷により、市内外での配付を強化し観光PRを実施する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

